

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】精神神経疾患の難治性腰下肢痛に対する脊髄刺激療法の効果—ケースシリーズ—

【研究責任者】国立精神・神経医療研究センター病院総合外科部整形外科 松井彩乃

【本研究の目的及び意義】

当科では2013年から難治性疼痛に対する脊髄刺激療法を導入しております。ここで当院における脊髄刺激療法の現在までの実施状況について振り返り、その治療の安全性、有効性について検証を行う機会を持ち、診療の質の向上に役立てたいと考えております。

また当院では精神・神経疾患を有する患者さまを対象とした診療を主にしており、病院の性質上、将来これらの疾患に罹患する患者さまに還元可能な治療法の発展に努める責務があります。脊髄刺激療法は一般的に脊椎手術後障害や脊髄損傷、虚血性下肢痛などに対して実施されており、精神・神経疾患を有する患者さまに実施される機会はまだまだ多くはありません。当院での診療経験を社会に公表し、専門家と情報を共有し研究報告の場で治療法について詳しく議論することが、将来の精神・神経疾患患者さまの治療技術の向上には極めて有益であると考えております。

本研究により、当院での治療について改めて客観的な立場から後方視的に検証し、専門家の意見を広く収集して当院の今後の診療に役立て、より多くの精神・神経疾患患者さまの生活の質向上につながる医療を提供したいと考えております。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2013年04月01日より2022年12月31日までの間に、病院総合外科整形外科で脊髄刺激療法の治療を受けた方、今後受療する方。

利用する試料・情報等

試料:なし

情報等:診療録(年齢、性別、診断名、画像検査、生理検査、リハビリテーション評価等の検査結果)

研究期間

2018年05月01日より2023年3月31日まで

2018年5月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 総合外科部整形外科 氏名 松井 彩乃

電話番号 042-341-2711

e-mail:ayanoms@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu@ncnp.go.jp